



## おだのぶなが えんりやくじ う 織田信長は、なぜ延暦寺を焼き討ちしたの



延暦寺が敵側についたという理由のほかに、信長に  
敵対する仏教勢力への見せしめでもあったようだ。

### 延暦寺が浅井・朝倉軍に味方した

1570年6月の姉川の戦いで、浅井氏と朝倉氏の連合軍は、織田信長と徳川家康の連合軍に敗れました。しかし、9月になると、浅井・朝倉軍がふたたび動きだして、京都にせまってきました。信長が攻めると、浅井・朝倉軍は、比叡山に逃げこみました。信長は延暦寺に、「こちらに味方すれば、自分の支配している地域にある延暦寺の領地を全部返すが、そうしないときは、焼き払うぞ」とおどしました。しかし、延暦寺は、それを無視して、浅井・朝倉軍を助けました。

### 信長は、焼き討ちを実行した

翌年8月から、近江（滋賀県）に出陣した信長は、9月12日に、延暦寺の焼き討ちを命令しました。信長軍は、ほとんどの建物を焼き払い、僧も、僧でない人も、男女を問わず、皆殺しにしました。殺された人数は、3000人とも、4000人ともいわれています。

### 仏教勢力に対する見せしめでもあった、といわれる

信長が、延暦寺を焼き討ちしたわけは、第一に、敵の浅井・朝倉軍に味方したからです。それだけでなく、当事、信長を苦しめていた、本願寺・一向一揆などの仏教勢力に対する見せしめでもあった、といわれています。延暦寺のほうは、「古くから、天皇・貴族や民衆からあがめられ、おそれられていた、このお寺を、焼き討ちできるわけがない」と考えていたようです。また、その考えが、当事の世間の常識でもありました。しかし、信長は、世間の常識を破り、前年のことば通りに、焼き討ちを実行したのです。